

九州・山口・西四国 次世代空陸連携モーダルシフト

協議会名:地域連携・未来型ハイブリッド物流協議会

協議会構成員

株式会社三和技巧、鹿児島県、北九州市、大林道路株式会社、株式会社昭和貨物、株式会社大安、山実水産有限会社

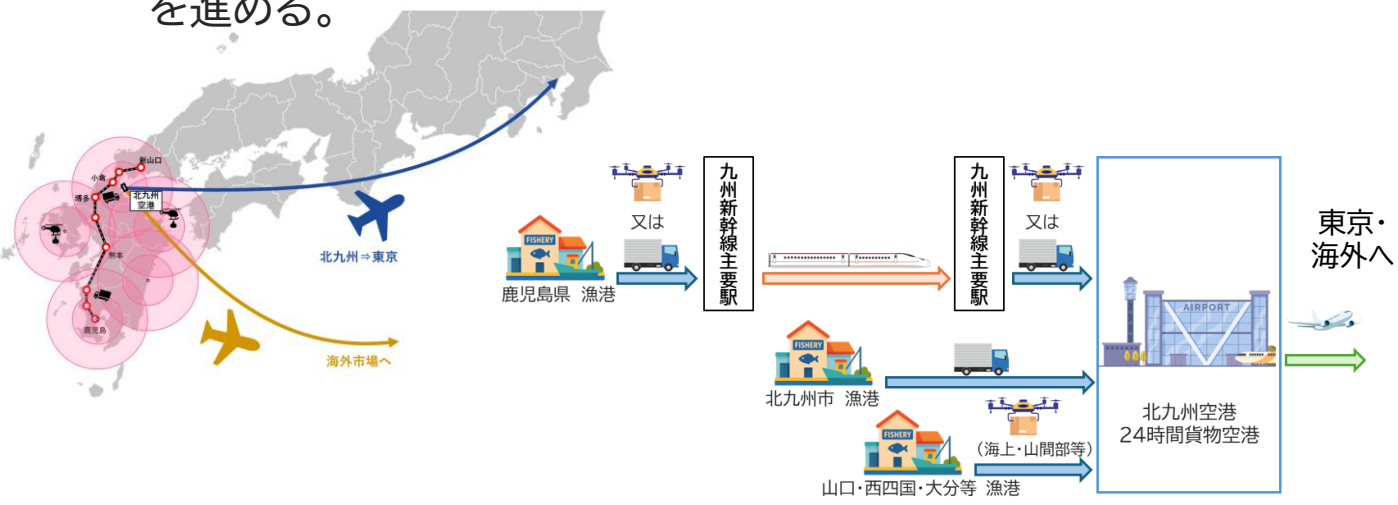
【事業実施背景】

物流の「2024年問題」や、特に地方における長距離輸送の人手不足が深刻化。地域の基幹産業である高級鮮魚や農産物の高鮮度輸送を維持するため、新たな物流モデルの構築が喫緊の課題である。

事業内容

Point


「貨物用ドローン＆新幹線＆トラック＆貨物航空機」を連携させた「ハイブリッドフォー物流」モデル構築。九州各地と山口県及び西四国から、鮮度の高い産品を最速で北九州空港に集約し、東京や海外へ輸送することで、持続可能な地域経済の活性化を目指す。また、北九州空港のみならず九州の主要空港の活用も視野に検討を進める。



想定事業実施効果

※1:連携クラスター化とは官・学・産など、物流やドローン等の異なる分野の事業者が、共通の目的のために強みを持ち寄り、緊密に連携し合って機能する協力ネットワークのこと。

- 将来輸送能力の確保及び物流の迅速化を目指す本モーダルシフトの“連携クラスター化”※1による地域活性”の全国波及
- 地上最速移動手段である新幹線の有効活用による輸送環境負荷低減と収益性の向上
- 九州・中四国地域における「鮮魚」及び「農産物類」の売上増加
- 国家的水産物輸出額増加
- 地方及び地域の経済・文化及び人的技術的交流活性化
- 日本の安心安全な高級魚や高級農産物などに魅せられたインバウンド集客による地方経済と新産業誕生